

令和7年度

鹿屋市水道ポスターコンクール 審査講評

4年生の部

まず、目を引くのは、とても美しい水紋です。筆で円を描くように、何色もの青色を塗り重ねていて、見る人を絵の中に引き込むような力を持った作品になっています。また、蛇口から出る水滴に白でハイライトをつけているのも立体感やインパクトを与える効果が出ています。

蛇口や周りの人の手には、淡いタッチで陰影をつけ、立体感をやわらかく表現しています。そのやわらかい立体感が、下部にある水紋をさらに引き立たせているのだと思います。

また、蛇口の左に描いている金魚の赤色は、この作品の差し色になっていて、作品にアクセントを加える効果があり、より構図を面白いものにしています。

全体の色彩のバランスもよく、気持ちよく見ることができ作品になっています。

令和7年度

鹿屋市水道ポスターコンクール 審査講評

5年生の部

蛇口から出る水の勢いや、その水をしっかりと受け止める手の力強さに目を引きます。一滴もこぼさないように受け止めている様子から、「水を大切にしよう」という作者の思いが表現されています。

四葉のクローバーを対比させることにより、水が私たちの幸せと大きく関わっていることを印象付けています。

黄色の背景に補色となる水の色が美しい。金属部分をうまく表現した蛇口や手やつめの色の落ち着いた色合いにより適切なバランスを保ち、落ち着いた作品に仕上がっています。

令和7年度

鹿屋市水道ポスターコンクール 審査講評

6年生の部

水中の生き物たちが、とても丁寧に点描で描かれています。一度下地を塗り、その上から点描を重ねることで、色に深みをもたせ、見る人の目を引く作品に仕上がっています。また、キャッチフレーズの文字を円で囲み、点描の点（小さな円）との統一感もあり、たくさんの色を使っているながら、まとまりのある作品に仕上がっています。

背景の水色は、少しだけ黄色を薄く加えることで、水中の光を感じさせるような塗り方になっていて、さわやかな明るさを感じさせます。

大きな魚を中心に描き、小さな魚やウミガメを周りに小さく描くことで、少し奥行きも感じさせるような構図になっていることも、目を引くポイントになっています。

作品全体が、きれいな色づかいで、見る人をさわやかな気持ちにさせる作品だと思います。